



# CANジャーナル

2023  
令和5年  
4月号

学校法人 中村学園  
専門学校 静岡電子情報カレッジ  
静岡福祉医療専門学校

## ◆令和5年度を迎えて◆

学校法人中村学園  
専門学校静岡電子情報カレッジ  
静岡福祉医療専門学校  
理事長・校長 中村 徹

まずは、桜花爛漫のこの良き日に専門学校静岡電子情報カレッジ38期、静岡福祉医療専門学校26期の入学生、また、進級した学生諸君、おめでとうございます！！

この3年間自粛を強いられたコロナ・パンデミックも、ようやくと収束が近づいてきたように思えます。

そして、気候も急に温かな春が来たと思いや、「寒の戻り」で寒い日も続く、三寒四温のこの時期、コロナ感染症対策で身につけることのできた「マスク着用、除菌、うがい、手洗い、水分補給」という新しい生活様式を必要に応じて活かし、体調管理には十分留意した上で、この一年が皆にとって**有意義な学校生活**となることを祈念します。

さて、この4月は昨年4月の民法改正により満18歳より**成人**となり、学生諸君は**全員成人おめでとうございます**。今まで以上に成人としての確固たる自覚を持ち、今後の人生の糧となる職業に就くための就学に当たり、しっかりした「**目標**」を立て、学校生活においては学業を通して、日々の努力から「**自己実現**」を図るんだ、という強い心構えを確認しなければならない時期なのです。

そして、新入生はこれまでの学校生活では義務教育的に与えられた学習から、これからは本学から提供される「**学びの場**」で、自分自身の**意志と意欲**で「**自ら学ぶ**」のです。学内環境では講義、演習、実習などで、**試行錯誤**の中からそのプロセスを学び、**フィールドスタディ**で学外では「**産学連携教育プログラム**」のインターンシップ、施設実習・臨地実習、卒業研究、ケアスタディ、ボランティア活動などのプログラムからも「**こだわり**」を持って、「**自ら考え、カタチにすること**」を身につける。これが社会に出てからの**問題発見・解決力**や壁を乗り越えることのできる皆の「**底力**」となるのです。

要するに、学校生活を有意義におくり、「**なりたい自分になる**」ためには、この時期に自己の「**キャリアデザイン**」の**イメージを確認**し、この具現化を図るために、「**こだわり**」をもって、「**自らが学ぶ姿勢**」にかかっているのです。

また、遠く母国を離れ、志を抱き入学された留学生の皆さん、言葉や文化、風俗習慣、環境が異なる土地で就学に勤しみ、生活は慣れないことが多いと思いますが、前向きな姿勢で日本人々との交流を通して**意義深い**学生生活を送ってください。そして、社会人入学された皆さんには、就学への強い意欲に敬意を表すとともに、どうぞ今後の人生における多様な生き方の糧を得ることを期待します。

## 1. 本学の学校生活に確固たる目標を持つ！！

本学創立者の教育理念である高い理想に基づく「**挨拶を基調とした全人教育**」は、本学園教育の根幹をなすものです。学校生活においては**学習**を通じて、社会においては**仕事**を通じて「**自己実現**を図る」という教えをしっかりと身につけ、「**なりたい自分になる**」という素晴らしい目標達成に向け努力をし、このような教育理念を掲げる本学で学ぶことで、「**これだけのことをやったんだ！**」という「**自信**」と「**誇り**」を持って就職活動に、社会に己を売り込んでください。

## 2. 新入生御殿場宿泊オリエンテーション

「**なりたい自分になる**」ために本学の学生としての心構えの徹底と一人でも多くの「**心の友**」をつくることを目的とする。

本学の「**全人教育**」と「**よりよい就職をするために**」の具現化に向け、2泊3日の研修を通して、学生間で本学への入学目的を確認し合い、その達成を誓い合う。この目的を同じくする仲間同士でのオリエンテーション活動の成果は、今後、目的達成のための学校生活とするのです。

また、人生における**人的財産**となり、お互いに切磋琢磨できる「**心の友**」を、この専門学校生活の中で一人でも多くつくり、「**友情を育み**」大切にしてほしい。「**朋友は 我が喜びを 倍にし、悲しみを 半ばにする**」  
これからの君たちの日々の生活が、「**感動**」を求め、「**充実感**」、「**達成感**」ある生活であることを期待する。

## 3. 我々を取り巻く社会的背景 時代は大きな転換期を迎えている

そして、このコロナ禍「**新生活様式**」は**社会のDX化を加速**させ、世界的なインターネットが生み出した膨大な情報を、AI技術によって社会が活用している新たな社会像が提起され、価値がモノから情報に移り、情報資本に立脚した社会への転換が起こるとされてきました。皆がこれから活躍する社会は、デジタルを活用し、AIによる情報を価値化することで**優位な競争力**を生む社会です。ゆえに、我々がこの社会で生きていくためには、これらの**変化への対応力**と**多様性への適応力**を身につけ、「**新たな知識を常に取り入れていくこと**」：**ブラッシュアップ**が日々の生活の中に求められているのです。

ダーウィンは「**進化論**」の中で、「**最も強いものが生き残るのではなく、賢い者でもなく、唯一生き残ることができるのは変化できるものである**」と言っている。

これから進み行くべき社会は、人口減少・少子高齢社会にAI、IoTなどの高度な技術革新の成果と、「**こころ**」という人間の**本質的特性**との共存時代です。

## 4. 目指せ！CANスカラシップ学生リーダー養成

「**ヒトづくり**」と「**経済的支援**」

本学校訓にある「**“Why” 人間の育成**」の具現化のため、学内・外の「**自分磨き**」の様々な活動を通して、「**コミュニケーション力**」「**対人スキル**」「**問題発見**

解決力」「**先見性**」「**洞察力**」「**発想力**」「**統合力**」「**情報分析力**」等を身に付け、「**自ら考え、問題解決**」でき、社会に出てから組織の中で**一步前**に出てリーダーシップが発揮できる**変化への対応力**と**多様性への適応力**を身につけた人材養成を目的とした制度です。学内・外活動内容の評価により**N-CapA**と**N-CapB**に選考されます。詳細は「**学生の手引**」を参照。我こそはと思う学生はクラス担任に「**CANスカラシップ 自己推薦文**」を添えてエントリーして下さい。

## 5. 新入生保護者様 後援会入会にあたり

令和5年度新入生の保護者様、本学園後援会に入会いただきありがとうございます。「**後援会入会式**」が今年度は会場の都合で入学式と同日開催ができず、別途ご案内させていただきますが5月13日(土)の後援会総会時に開催させていただきます。

本学後援会は、「**学生に、より充実した学生生活を送ってもらう**」という目的のもと、本学の教育と研究の両面で、就職活動をはじめ学生各種活動補助、入学式・卒業式に際しての支援、教育・研究環境整備への補助、専門職業教育学会への参加、産学連携・学校連携等に関する支援など、多大なご尽力をいただいております。ついては、**学校と家庭の両輪**で、学生たちを胸張って社会へ送り出すため、今後も本学園の教育内容をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

## 6. 「入学と併せて、18歳成人おめでとうございます！」

自由・見聞が広がるが責任を伴う

「**成人年齢**」が、欧米諸国等の80%弱の国々のように20歳から18歳に引き下げられた。この成人年齢とは、「**独立した個人として社会に参加する年齢**」ということです。具体的に何ができるかといえば、自分の意思だけでスマホやマンションの購入契約を結んだり、クレジットカードを作ったり、ローンを組んで外車の購入、または公認会計士や司法書士等の**国家資格取得**ができるようになりました。しかし、特に注意してほしいのは「**未成年者取消権**」の保護がなくなり、原則として契約を取り消せなくなった。高額な商品をローンで買わされたりしても、自分で責任を負うことになる。過去、「**消費者被害**」が多かったのは20・21歳でしたので、これからは18・19歳が**狙われやすい**となるわけです。ついては、これからは「**お金の話は注意!**」。特に「**儲かるお金の話には要注意!**」をしてください。

**困ったと思ったら早めの相談!! 全国共通相談窓口「消費者ホットライン」**電話「188」に相談すること。一定の期間は契約解除ができる「**クーリング・オフ**」制度がある。自分たちの将来のため、早々の4月9日(日)の**統一選挙**には**積極的に参加**しよう!

最後に、皆の**令和5年度が実り多い学生生活**となりますことを心より祈念します。